

各 位

会 社 名 モロゾフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 川喜多 佑一
 (コード番号 2217 東証・大証第 1 部)
 問合せ先 取締役 尾崎 史朗
 (TEL. 078-822-5000)

中期経営計画『Next M』の進捗について

2009 年 1 月期を起点とする 3 ヵ年中期経営計画『Next M』は、業績の V 字回復を果たした前中期経営計画『プロジェクト M』をさらにステップアップさせるべく、【中期経営計画の達成によるすべてのステークホルダーの満足度向上】を中期経営ビジョンとして掲げ、継続した売上向上と利益の確保を目指しスタートいたしました。中間地点となる 1 年半を経過しましたので、進捗の報告をいたします。

1. テーマ (4 つの M) と前回開示の目標数値 <2008 年 9 月 12 日修正>



2. 『Next M』 4 つの M について進捗報告

【Must (責務) 財務】

2009 年 1 月期は原材料などの高騰による原価高はあったものの、イベント商戦の成功と販路拡大により順調に売上高を伸ばすことができ、営業利益率も予定通りの数値を確保いたしました。しかし 2010 年 1 月期に入り、バレンタインデー、ホワイトデー商戦は成功したものの、個人消費の低迷からデイリーユース向けの洋生菓子が低調に推移しており、2010 年 1 月期の売上高につきましては計画を若干下回る見通しとなりました。また戦略的費用支出の増加や原材料費の高騰などによる売上原価の高止まりが続くなか、計画した営業利益を確保するためには、より一層の内部努力による原価低減および経費・人件費の抑制が必要となっております。

【M e e t (満足) 顧客】

市場規模の拡大に向け、「モロゾフ」ブランドの価値向上と販路拡大への取り組みを継続しております。また高質次世代ブランドの確立に向けた取り組みが重要な課題となっております。さらに、変化し続ける社会情勢のなか、新たな販路への進出も視野に入れた取り組みをいたします。

当社はこれまで企業の社会的責任を果たすため、積極的にCSR活動に取り組んでまいりました。環境への配慮につきましても六甲アイランド事業所でのISO14001(2008年1月認証取得)に基づいた取り組みを中心として活動の幅を広げております。このたび、このような活動をCSR報告書に取りまとめ発行いたしました。(当社ホームページをご参照ください)

【M o s t (最上) 業務プロセス】

店頭の活性化による売上増加と、事業所の統廃合を含めた生産体制の効率化と汎用性の拡大による原価低減に取り組んでおります。2009年8月には深江浜事業所で運営しておりました物流機能をアウトソーシングし、新たに北港物流センターとして稼動いたしました。また将来への先行投資として2010年6月に稼動を予定している西神新工場の建築は順調に進んでおります。さらに、全社品質保証体制のもと品質管理体制は整備されておりますが、より一層の安心・安全の確保を目指し、今後もさらなる強化を図ります。

【M a s t e r (伝承) 人材と変革】

パートタイマーが短時間勤務のまま社員に転換できる『ショートタイム社員制度』は人材確保に貢献いたしました。また従業員の能力開発および育成とモチベーションアップを目指し、人事評価制度の見直しを行っております。

3. 今後の予定 目標数値の見直しについて

『N e x t M』の着地年度である2011年1月期は市場拡大により継続した売上増加を見込むものの、引き続き厳しい市場環境が予想されることから前回予想を若干下回る見通しとなりました。あわせて西神新工場の稼動開始による建物、設備、機械の減価償却費、および移設経費の負担が大きく、営業利益率につきましても前回予想を下回る見込みであります。なお、一層のコスト削減に取り組むことにより前年度並みの営業利益率は達成したいと考えております。2011年度以降は工場統合による効果創出と経費負担の減少により業績は向上する見込みであります。

上記を踏まえ、目標数値を以下に修正いたします。

	2009年1月期 実績	2010年1月期 見込み	2011年1月期 修正目標
売上高(百万円)	27,931	28,000	28,400
営業利益率(%)	1.9	1.2	1.2

以 上

本資料の見通し、計画などに関する記述は本資料作成時点において入手可能な情報をもとにした当社の予測であり、実際の実績はこれと異なる可能性があります。